

読む人の幸せを心に願って作る

喜びのタネまき新聞

No.
623

〈ミスタードーナツ50周年〉

ダスキンは、1970年にミスタードーナツ・オブ・アメリカ社と契約し、翌年の4月に日本での第1号店を大阪府箕面市にオープンしました。

きっかけは、ダスキン創業者・鈴木清一がアメリカ視察の際にミスタードーナツのおいしさにほれ込み、日本のお客様にも届けたいと望んだことでした。

しかし、モップやマットのレンタルをしているダスキンにとって、全く違うフードビジネスへの挑戦であること、そして日本でミスタードーナツを展開するには莫大な契約金が必要だったことから、創業者は悩んだそうです。決断したのは、フランチャイズのあるべき姿を学び、ダスキンの加盟店に伝えていくことが使命だと考えたからでした。

そして創業者は「多くの店を出すより、多くの売上を望むより、一人のお客様の喜びのために誠実を尽くしきれ、誠意と微笑に満ちた店であること」を願い、目標としました。

日頃の生活においても、高い目標を持つときがありませんが、何か目標を持たないと日々の生活に張り合いがなくなり、その目標が自分だけのためではなく、身近な人も喜んでくれるものであれば、なお素晴らしいと思います。

ミスタードーナツ創業から50年。日本をはじめアジアにも出店し、多くのお客様にご利用いただいていることに感謝申し上げます。



香川県

道の駅小豆島オリブ公園

※イラストはイメージです

株式会社ダスキン社長

山村輝治



ほほえみのひろば
あの人へ届けたい
感謝状

「ほほえみのひろば」には、
ご家族やご友人、何気なく出会った方々、
大切な人への感謝のお便りが多数届きます。
胸の痛む世界情勢の中、少しでも
ホッと心休まるひと時になればと
2号連続で“感謝状”をご紹介します。

ペンフレンドへ



北海道名寄市
駒井艶子さん

私は、同い年のペンフレンドと15年以上も文通を続けています。先日、そのペンフレンドからの手紙に「今日来るかな、まだかな」と返事を待っている」と書いてくれたのです。その言葉に感激し、すぐに新たな話題を便せんに5枚ほど書いて送りました。
週に1度くらいのやり取りですが、近況や悩みを打ち明けられる、大切な友人。これからも、未永くお付き合いを続けたいです。

親切な男の子へ



福島県白河市
廣田倫子さん

ある日、母が洗濯物を取り込んでいた時のことです。
偶然自転車で通りかかった小学校高学年ぐらいの男の子が、腰の曲がった母を見て「お手伝いしましょうか」と声をかけてくれたそうです。しかも、男の子はわざわざ自転車を降りて申し出てくれたそうです。その優しさに母はうれし涙がこみあげたと教えてくれました。
「きつと素晴らしい！両親に育てられたのだろっね」と今でも二人で話しています。

孫の夏ちゃんへ



栃木県下野市
久保田国枝さん

小学校にあがった孫娘は、我が家へ来ると野菜を洗ったり、掃きそうじをしたりとよくお手伝いをしてくれます。
お手伝い中、二人で女子トークをするのも楽しみのひとつ。洗濯物を畳みながら、学校でのことを教えてもらっている、主人が来て「夏ちゃん、洗濯物を畳んでくれてありがとうね」と言いました。すると「私にじゃなくて、毎日洗濯をしてくれるおばあちゃんにありがとうでしょう」と言うから驚き。以来、主人が私にねぎらいの言葉をかけてくれるようになりました。夏ちゃん、ありがとうね。

教え子さんたちへ



京都府亀岡市
中川早苗さん

息子は、高校の教師をしています。その息子が帰省した際、「担任のクラスの生徒から、誕生日を祝ってもらった」と色紙を見せてくれました。色紙2枚にわたって、一人ひとりメッセージやイラストなどを綺麗に寄せ書きしてあり、とても手の込んだ素晴らしい力作でした。
息子は「宝物ができた。教師冥利に尽きる」と感動していました。長い教師生活の中でも、特にうれしかったそうです。
こんなにも心のこもった素敵なお祝いを贈ってくれた生徒さんたちに、私も感謝でいっぱいです。

優しい同級生へ



青森県青森市
根川洋子さん

「こんにちは」と同級生宅を訪れると、友人は私をお風呂場へ連れて行ってくださいます。彼女のお宅には、温泉があるのです。私が畑で採れた野菜を届けに行った際に、「足腰が痛み出してきて…」と話したのがきっかけで、「うちの温泉に入れば楽になるから！」と勧めてくれるようになりました。湯船で屈伸をすれば、額から汗がほたほた。体がふつと楽になる気がします。お風呂あがりには冷たい麦茶を用意してくれる、心優しい彼女に感謝、感謝です。

あの時のご夫婦へ



福岡県福岡市
杉田真奈美さん

息子が赤ちゃんだった頃、義理の両親とランチに行きました。しかし、食べ始めてすぐに息子がぐずってしまい、必死であやしたものの、泣きやんでくれません。隣の席にいた年配のご夫婦もこちらをじっと見つめておられたので、子どもの泣き声はうるさいだろうなと、店の外に出ました。
外であやしていると、先ほどのご夫婦が食事を終えて出てこられました。そして奥様が「大変ね。でもがんばってね!」と話しかけてくださり、後ろで旦那様もニコニコとほほえんでくれたのです。初めての子育てで毎日余裕がなかった私は、その一言に救われ、思わず涙が流れました。



感謝状

あの人へ届けたい

台湾の高校生へ

群馬県桐生市

田村 由美子さん



息子と主人と私の三人で、台湾旅行へ行った時のこと。十分という町では吊り橋や滝を見て回り、暑さのせいもあって、帰る頃にはすっかり疲れてしまいました。帰りの電車は混み合っていたため立っていたところ、座っていた女子高校生二人がすっと立ち、席を譲ってくれたのです。

外国で、親切にしてもらえるなんて！若い方に感謝し、また来たいと思いました。

憧れの友人へ

愛媛県大洲市

野間 眞由美さん



私には、ひと回り年上の友人がいます。その女性は、どんな話題や愚痴にも嫌な顔をせず、優しく聞いてくれるのです。

心を落ち着かせるため、その友人と作法など気にせず抹茶をよくいただきます。そのおいしさといったら！夏の暑い日にも格別で、心なごむ時間が流れます。温かく見守ってくれる友人は、いつになっても私の憧れの人です。

優しい友へ

愛知県一宮市

鹿野 啓子さん



以前、体調を崩して病院へ行くと、なんとインフルエンザだと判明。外出の予定もキャンセルし、食欲もなかったので水分だけ摂って自宅で療養していました。

するとチャイムが鳴り、出てみるとサークル仲間の友人の姿が。「大丈夫？何かいるものはない？」と一人住まいの私を心配し、りんごごみかん、レトルトのお粥を持って来てくれたのです。

「遠くの親戚より近くの他人」とはよく言いますが、友の親切が心に染みしました。

お店にいた方々へ

宮崎県延岡市

村田 チドリさん



ドラッグストアへ買い物に行き、会計を待つ列に並んでいました。すると、私の前にいた方がカゴを元の場所へ戻す際、店員さんに「ありがとうございます」と言っていて、帰られたのです。

「礼儀正しい人ですね」と私が店員さんに話すと「ありがとうございます」と言われました。お客様の声、優しいです」と言われました。その言葉に「私まで褒められてうれしい限りです。ありがとうございます」と返しました。

店員さんの言葉にうれしくなった一日でした。

かわいい孫へ

石川県七尾市

大杉 昌子さん



以前、主人が趣味で使う工具をメンテナンスしている時に、誤ってケガをしてしまいました。幸い、数日の入院で済み、退院後に5歳の孫娘からお見舞いのハガキが届きました。ママに教わりながら、一生懸命書いたのでしょう。「はやくげんきになって」の「げ」が左右反転していたり、「き」は3画目が逆にハネたりしていました。

たとたどしくも、ほほえましい筆跡からは、じいじを気遣い、真剣な眼差しでハガキに向かう姿が目につかぶようです。「永久保存版にしくちや」と、早速ハガキを棚に飾りました。

読者の皆様への感謝状

皆様のご愛読のおかげで弊紙は来年、創刊50周年を迎えます。そこで、ほほえみのひろばでは「喜びのタネまき新聞と私」をテーマにお便りを募集いたします。ぜひ、たくさんの思い出をお聞かせください。

灯々無尽 わかち合う人生

人間が成長するには自分だけでは出来ない。人と交わり、他の人と仕事を一緒にやることでその中から学んでゆく。裏を返せば学んだことを、他人とわかち合うことによって、自分も成長するのです。

ダスキン創業者 鈴木清一

愛の輪通信

ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業とは

ダスキン愛の輪基金では、1999年からアジア太平洋地域の障がいのある若者を日本へ招き、母国の障がい者福祉向上に寄与する人材育成事業を行っています。これまで29の国と地域から計141名の研修生を受け入れてきました。

約10カ月にわたる研修は、原則日本語または日本語で行われ、「一般家庭でのホームステイなどを通じて日本文化の理解も深めています。研修生は帰国後、自立生活センターを設立したり、国際機関や教育施設などに勤務したり、地域社会のリーダーとして活躍されています。

事業内容や活動にご興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。



愛の輪は、日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎06-6821-5270 <https://www.ainowa.jp/>

台所の相談室

これから湿気や暑さが増す季節。アイスやかき氷も良いけれどおもてなしや作り置きに使える夏の「おうちおやつ」はいかがですか？

FILE 7

果物をシロップで煮つめて 好みの食べ方で召し上がれ。



お悩み

甘いものが好きな孫のために、おやつを手作りしてあげたいと思うのですが、暑い日にお菓子を焼くのはおっくう…。夏場におすすめの、子どもにも喜ばれる手作りおやつはありますか？

(島根県・女性)

ひだかずを 飛田和緒さん

料理家。1964年、東京都生まれ。独自のアイデアレシピが人気。新刊の『いちばんおいしい野菜の食べ方』(オレンジページ)を始め、著書多数。

私も焼き菓子を作るのが苦手なのでよく悩みますが、果物を煮たり、焼いたり、凍らせて作るおやつは手軽なのでよく作ります。果物は火が通りやすく、すぐに出来上がるのもうれしい。来客がある前日に作っておくと、当日慌てずに済むので便利です。特に冷たいおやつは夏にとても喜ばれますし、ガラスなどの器に盛り付ければ一層涼しく

感じられます。今回は桃を煮ました。桃は熟して食べ頃のものだと少し煮崩れしやすくなりますので、やや硬めの方が作りやすい。そのまま食べる他、アレンジも自在です。アイスクリームやヨーグルト、フレンチトーストに添えたり、トーストにのせたりしてもいい。特にバニラアイスとの相性は抜群です。お孫さんのおやつな

ら、一緒にかき氷作りをして、その上に桃をのせ、最後にシロップをかけても喜ばれるはず。ひととまでご紹介の通り、保存瓶に作り置きすると、桃の季節が終わっても長期間楽しめますよ。急な来客や娘のお弁当のデザートに困った時などに重宝しています。ぜひ作ってみてくださいね。



Answer Recipe

桃のシロップ煮

材料(作りやすい分量)

- 桃……………4個
- 水……………3カップ
- 砂糖……………300g

作り方

- 1 桃は皮付きのまま半分に切る。種をのぞいて、さっと湯に通し、はじけた皮を湯剥きする。
- 2 厚手の鍋に水と砂糖を合わせて、火にかける。
- 3 沸騰したら①を入れ、再度沸騰したら紙の落とし蓋をする。その上に鍋の蓋をして、弱火で10分煮る。
- 4 冷めたら保存容器に入れ、冷蔵で1週間ほど保存可能。

※長期保存は“ひととま”を参考に。シロップが足りない時は水と砂糖を同じ割合で増やす



飛田さんのお悩み

脱気して保存すれば、常温で一年ほど持ちます。湯剥きをした桃を塩水に10分漬け、水気をきいたら煮沸した瓶に入れて、作り方②のシロップをなみなみと入れます。軽く蓋をして蒸し器で20分蒸した後、取り出してから蓋を固く閉め、蓋を下にして冷まします。こうすることで瓶の中の空気がうまく抜け、日持ちするようになります。

台所のお悩み事をお寄せください。

お料理について気になることや、ちょっとしたお悩みを、飛田さんに相談してみませんか？お便りをお待ちしています。宛先は裏表紙をご覧ください。

正しい手洗いで 元気に夏を迎えましょう！

日に日に暑さが増してきました。元気に夏を乗り切るためにも、
毎日の手洗いをしっかり行いましょう。

正しい手の洗い方

手洗いの前に ○爪は短く切っておきましょう ○時計や指輪は外しておきましょう

- 1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります
- 2 手の甲をのばすようにこすります
- 3 指先・爪の間を念入りにこすります
- 4 指の間を洗います
- 5 親指と手のひらをねじり洗います
- 6 手首も忘れずによく洗います

No.419からのバックナンバーが下記の
アドレスからご覧になれます。
<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



あなたのお便りや写真をお寄せください。

皆様からお送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail : koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページで紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
- お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。



読者の皆様からお送りいただいた
素敵な1枚をご紹介します。

長崎県
長崎市
木村
夏実さん

我が家のアイドル



岡山県
浅口市
北川
恵子さん

紫陽花と私♪



ごま、13歳です！



神奈川県
横浜市
小島
かおるさん

引越しのおそうじにはダスキンモップが便利！

 引越しのお手続きは、担当店・Webページ
ダスキンコンタクトセンター **0120-100100** まで



株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン コンタクトセンターまでご連絡ください。

0120-100100 www.duskin.co.jp

59-4C 2020.6 3536100